

## コミュニティナースとは？

コミュニティナースとは、住民と一緒に”毎日の楽しい”と”心と体の安心”をつくる医療人材として活躍する看護職者のこと指します。

### ➤ コミュニティナースは何をするのか？

病院で働く人、訪問看護で働く方も「病気になった人」を対象とするのに対して、コミュニティナースは、病気なのかどうかは関係なく、地域で生活する人を対象に活動します。病院、クリニックの看護師、訪問看護師、保健師がカバーしきれていない領域でも、活動できることが特徴です。地域を盛り上げる”地域おこし“、人が集まる場作りや、そのためのきっかけづくりをして、日常的に住民と接することにより、普段から健康意識を高めるアプローチや、病気の早期発見、医療や福祉、行政機関への橋渡しなどを行います。



まちの人々の健康ニーズや大切にしていることを理解することと、人間関係づくり。それが、まちの健康と幸福度を上げていきます。

コミュニティナースは、人間と生活の専門家です！

### ➤ なぜ、必要なのか？

今までは、病気になった際は、救命・延命、社会復帰を前提とした「病院完結型」の医療を日本は提供してきましたが、21世紀になると、高齢化、疾病構造の変化、医療の高度化により「治す医療」からよりQOLを重視した「治し・支える医療」へ転換してきています。この「治し・支える医療」の土台になるのが、地域です。実際の地域医療の担い手は少ないなか、「治し・支える医療」とともに、「いつまでも元気でいられるための暮らし作り」「病気の予防」を実践する人材がコミュニティナースです。コミュニティナースの活動には、専門機関と連携しながら地域医療を充実させ、介護の負担を減らす意義があります。

※本活動の発案者：島根県雲南市 矢田明子氏 (Community Nurse Company (株) 代表)